

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 211



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 藤井聡太七段に60余年ぶりに破られるまで、「史上最年少棋士・史上初の中学生棋士」「新人棋戦を除く公式棋戦における当時の最年少優勝記録」「七段昇段の最年少記録」等の記録を保持していたのは、加藤一二三(ひふみ)九段だと聞いた。加藤九段に関する資料はないか。

答) 昭和館図書室では、戦中・戦後の国民生活に関する資料を中心に収集を行っていますが、昭和10年代から30年代に発行された図書や雑誌なども所蔵しています。
名前の「加藤一二三」をキーワードにして、検索してみましょう。

全資料検索 → ことばから探す → 加藤一二三 ⇒ 12件ヒット

以下の雑誌には、「神武以来の天才」として、10代で既に「棋界のホープ」と評されていた加藤九段に関する記事が、写真入りで掲載されています。ご本人へのインタビューや対談など多岐にわたり、当時の注目度の高さがうかがえます。

- ◇ 『アサヒグラフ 昭和33年1月5日12日合併号=第1742号-1958年6月29日=第1768号』(051/A82/1958-1) 閉架雑誌
- ◇ 『週刊朝日 昭和33年1月5日=第63巻第1号-昭和33年2月23日=第63巻第8号』(015/Sh99/1958-1) 閉架雑誌
- ◇ 『週刊朝日 昭和33年3月2日=第63巻第9号-昭和33年4月27日=第63巻第17号』(015/Sh99/1958-3) 閉架雑誌
- ◇ 『ジュニアそれいゆ No. 25 (昭和34年1月)』(051/So55/25) 閉架雑誌

図書室での検索結果一覧には、館内で視聴できる写真・映像・音響資料も表示されます。

- ◇ 『中日ニュース 第314号』(昭和35年1月22日公開 上映時間9分3秒)

上記のニュース映画では「週間話題」内で、「成人の日に、升田幸三九段夫妻の媒酌により華燭の典をあげた加藤一二三八段が、名実ともに一人前となった」と紹介されています。

[※ニュース映画は、5階映像・音響室でご覧いただけます]

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

肉弾三勇士ってなに？～『大家さんと僕から』～

『大家さんと僕』は昭和52年生まれのお笑いコンビ・カラテカの矢部太郎さんが、終戦時に17歳であった昭和3年生まれの大家さんとの日々をつづった漫画です。今年の4月には優れた漫画単行本に贈られる「手塚治虫文化賞」の短編賞を受賞しました。

大家さんは折に触れて戦争の頃の話をしてますが、入院中の大家さんが病室で同世代の方々と楽しげに「見よ東海の空明けて…」と「愛国行進曲」を歌う場面があります。その後「次は肉弾三勇士歌いましょうー」というセリフが出てきます。なかなかインパクトのある曲名ですが、この「肉弾三勇士」についてご存知でしょうか。

「肉弾三勇士」とは、上海事変下の昭和7年2月に起こった^{びょうこうちん}廟行鎮の戦闘において、工兵隊一等兵の江下武二、北川^{すすむ}丞、作江伊之助の3名が鉄条網破壊のため、竹製の破壊筒をかかえて命もろとも爆破した出来事を指します。陸軍当局はこの出来事を「覚悟の自爆」として発表し、国中は三勇士ブームにわきかえりました。のちになって、彼らの死は「覚悟の自爆」ではなく、何らかのミスで起こってしまったことがわかるのですが、ブームの最中には軍歌、映画、演劇、少年少女雑誌、国語や音楽の教科書などにも取り上げられる熱狂ぶりでした。

「肉弾三勇士」は「爆弾三勇士」とも言われ、これに関する曲は多くあることから当時の人気ぶりが感じられます。これらの歌詞の1番をご紹介します。

○肉弾三勇士 中野力 作詞 山田耕作 作曲

著作権があるため掲載できません。

○肉弾三勇士 長田幹彦 作詞 中山晋平 作曲

著作権があるため掲載できません。

○爆弾三勇士 与謝野寛 作詞 辻順治 作曲

著作権があるため掲載できません。

これらの曲は5階映像・音響室で試聴することができます。また、「愛国行進曲」についても同様に試聴できるようになっています。

『大家さんと僕』には著者が昭和館に来館した際のエピソードも描かれています。ぜひお手に取って読んでみてください。



参考文献：『大家さんと僕』開架 726/Y11

『軍歌と戦時歌謡大全集』開架 767/Y28

『昭和世相流行語辞典』開架 814/Ta33

『新聞集成昭和史の証言 第6巻』閉架 210.7/Sh59/6

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 211

2018年5月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1